

平成二十二年
七月十一日執行



日本共産党

古田 もとのり

徳島大学教育学部卒 党県副委員長

参議院徳島県選挙区選出議員選挙選挙公報

徳島県選挙管理委員会

普天間基地なくせ アメリカにも、財界にも はっきりモノがいえる政治を

選挙区と比例代表の
2票あります比例は 日本共産党
ください

幸福への旅を
はじめよう!

現政権から
幸 福 ゆき
未来がある限り有効
下車前無効 0円
幸福実現駅発行



幸福実現党

<http://www.hr-party.jp>

約束その七 雇用の場を確保するため企業誘致を図ることとともに地元中小企業の育成を図るそのため金融支援・税財政支援を行う

約束その六 豊かな国土・自然環境を守るとともに、食料安全保障を図るために農林水産業の役割を強化し、支援していく

約束その五 本四連絡道路が割高となる高速道路新料金制度は撤回させるとともに、必要な道路整備を推進する

約束その四 安定した外交・安全保障政策を展開する少子化対策として乳幼児医療費の無料化を国の制度として充実させるとともに、幼児教育の無償化を図る。安心と希望の社会保障政策の充実を図るために、年金・医療・介護制度の改善を図る。

約束その三 少子・高齢化対策を充実させる

約束その二 カネのかかる政治と決別する

すべては、徳島のために

新党 改革
公認

こいけ 正勝

Makoto Koike
●昭和27年 1月17日生まれ
●昭和50年 東京大学法学院卒業・建設省入省
●昭和57年 建設省計画局総務課長補佐
徳島市開拓部長
●平成 5年 徳島市長に就任（3期）
●平成16年 外務大臣政務官就任
●平成19年 新党改革公認会員就任
●平成22年 新党改革公認会員就任
58歳

誰もが幸福に向かう未来を 今、必要なのは“改革”ではなく“新しい国づくり”です。

① 景気対策最優先

増税こそ不況の元凶。公共投資と大減税、規制緩和で5~7%の名目成長を実現

10年間で平均所得が100万円以上減少 → 所得を毎年20~30万円増やす

② とにかく雇用を増やします

新しい基幹産業（経済活動の基盤となる重要な産業）をつくる

完全失業者 323万人 → 1000万人以上の雇用を創出

③ 自分の国は自分で守る

日米同盟を強化、独自の防衛体制も整える

21年間で中国の軍事予算は20倍 → 霸權主義に屈しない毅然とした国家を築く

竹尾あけみプロフィール 1954年4月5日、(株)ヨーヨイ創業者・澤謙一の娘として生まれる。1970年徳島大学教育学部附属中学校卒業。1973年同校女子大学附属高校卒業。1977年昭和女子大学日本文学科卒業。ヨーヨイグループ各社取締役等歴任。NPO「いあから子供を守ろう」ネットワーク・日本本部顧問。2009年幸福実現党初代代表。

幸福実現党
たけお
お

竹尾あけみ

新党 改革
公認

こいけ 正勝

Makoto Koike
●昭和27年 1月17日生まれ
●昭和50年 東京大学法学院卒業・建設省入省
●昭和57年 建設省計画局総務課長補佐
徳島市開拓部長
●平成 5年 徳島市長に就任（3期）
●平成16年 外務大臣政務官就任
●平成19年 新党改革公認会員就任
●平成22年 新党改革公認会員就任
58歳

夢と希望にあふれる日本に

<http://www.koikeweb.com>

この選挙公報は候補者から提出された原稿を写真にとってそのまま印刷したもので、なお、掲載の順序は、公職選挙法第169条の規定に基づき、くじで定められたものです。

平成二十二年七月十一日執行



無所属 豊川たかし [79才]

一、憲法の改正について

(ア) 自分の国は自分で守るというのが理想であると思っています。残念な事に戦後六十年経つというのに、いまだに米国の被護國となつて居ります。それも高いお金を支払つての事です。こういう状態をいつまでも続けるといふ事は日本の将来にとり決して良いとは云えません。

(イ) それを改善するには、日本が早く普通の国になる必要があります。その為には現行の憲法九条の一項の他国から攻められても日本は永久に戦争を放棄しますとか又第二項で一切の戦力はこれを保持しないという事はどう考へても実情と合わないと思います。

(ウ) 戦わずして死を待つより一石でも一矢でも抵抗する人が人間らしいと思います。

(エ) 今の日本の憲法は戦勝国アメリカが作ったもので、当時の日本が再び戦争をしない様に又天皇制を維持する見返りに戦争放棄と、戦力不所持を憲法にもりこまれたと云われております。

(オ) しかしながら憲法を変更するには、今年から国民投票により三分の一を超える賛成があれば出来る事になりました。勿論その前に国会議員の三分の二以上の賛成も必要です。

(カ) 幸い私がこの選挙により国会議員になる事があれば骨碎身国會議員を説得し、国民投票が出来る様にしたいと思ひます。どうかよろしく御願い申し上げます。

三、格差是正 二、経済発展

自助努力をした上でまだ経済に困っている人に生活保護を支給したり、若い人の就職先を確保致します。
以上

参議院徳島県選挙区選出議員選挙公報



民主党公認 よしだ ますこ
吉田ます子



中西祐介

徳島県選挙管理委員会

みんなが笑顔になれるまで

～希望から「幸せを実感する」政治へ～



Clean & Green



私の路歴

昭和34年(1959年)6月18日生まれ。九州大学農学部卒業後、新規開拓として農業機械工学科卒業。農業機械工科に勤務。モリシビーグ、セビニアCNGO等に勤務。野川市はじめ環境市民運動に参加。ラオカ農場、さくら診療所を経て、平成15年(2003年)~平成19年(2007年)徳島県議会議員。参議院選舉(徳島県選挙区)候補者公募に合格。民主党徳島県選挙区選出議員第2期支部長。民主党徳島県副代表として、地域に根ざした政治活動を展開中。

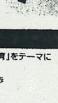
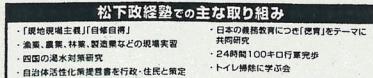
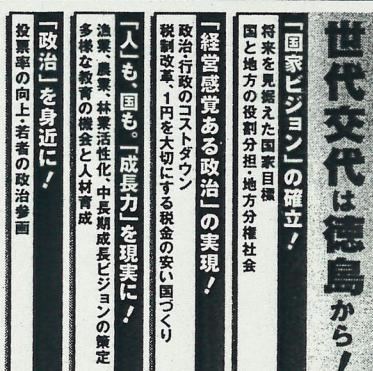
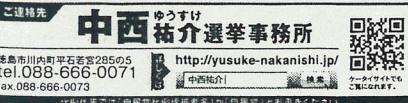
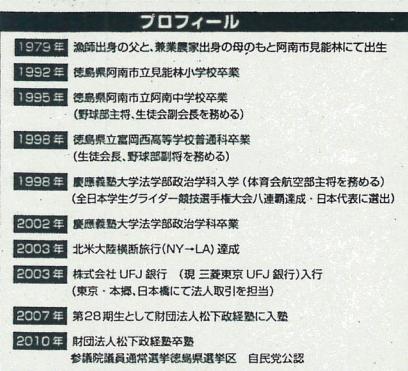
吉川市在住 薬剤師

趣味 ハーネーボール、読書
好きな言葉 「仮谷次郎は、土器エフスキイ
好きな歌詞 「チャップリンの歌」
好きな映画 「ハム・カガーリク」
尊敬する人 「ハム・カガーリク」
座右の銘 「地獄樂でえ、地獄で救ひ
命／よくことはカタツミのことく進む

吉田ます子 3つの約束

- ① 「生活が第一」セーフティネットで、くらしに笑顔 ☺
正規・非正規の均等待遇や、「求職者支援制度」の法制化などで、若者の仕事環境を改善します。財源を確保しつつも手当を充実させ、また奨学金制度などを拡充することで、所得格差による子育て・教育機会の不平等をなくし、「親の自己責任」から「社会全体で子どもを育てる日本」へ大転換します。年金の一元化、月額7万円の最低保障年金、年金連帳で消えない年金を確保することで、高齢者が安心できる年金制度をつくります。母子家庭の母親、障がい者の方々などが生きがいを持って働ける労働環境を整備します。男女共同参画社会を推し進めます。
- ② 安心・納得・安全の「医療」で、げんきな笑顔 ☺
専門医・産科・小児・外科・べき地・災害等の医療提供体制を再建し、支援を行います。とりわけ女性医師の働きやすい環境を整え地域医療を守ります。地域の医師不足解消に向けて、医師を1.5倍に増やすことを目標に、医学部学生を増やします。看護師など医療従事者の増員を取り組みます。在宅医療、訪問看護、在宅介護、在宅リハビリテーションなどを推進し、地域で安心して生活できる環境を整備するとともに、家族など実際に介護にあたっている人を支援します。
- ③ 環境を柱にした「新産業」で、あしたに笑顔 ☺
戸別賃借から、さらに環境保全への直接支払い、林業・漁業への所得補償など、手を確保するとともに安全な水と土壌を守りつつ、資源自給率を大幅に引き上げます。みどりの公共事業で新たな雇用を創出するなど、農林水産業の復権、環境保全と雇用創出を目指します。森林バイオマス、畜産バイオマスなど、徳島の資源を生かした石油に代わる代替エネルギー政策で、新エネルギー産業をつくります。緑のダム事業、エコソーラー、河川の再自然化、湿地の復元、ビオトープの整備など、地球環境に優しく、生態系を損ねることのない、持続可能な国土を形成します。

松下政経塾出身 30歳！若き志



漁師出身の父と、兼業農家出身の母のもと、徳島に生まれ、徳島で育った私。日夜官業努力を続ける、中小零細企業の経営者の方々と接してきた社会人時代。「企業は人であるとの経営理念で、汗まみれになって働く眼差しを向ける社長、企業と同じく、國家も経営体として生産性の高い政治をしてはならない」。松下幸之助の思いを託され、地方自治の現場で三年千日の塾生生活を過ごしてきた。
三十歳という若齢者の身、この社会を五十年先まで見届けることができる。どちらの立場で、将来の日本のために、すべきことを為す決意である。皆さんからの率直な声を、ぜひ私にお聞かせください。



中西祐介

自由民主党公認

この選挙公報は候補者から提出された原稿を写真にとってそのまま印刷したものです。なお、掲載の順序は、公職選挙法第169条の規定に基づき、くじで定められたものです。